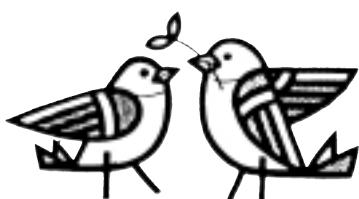


市の鳥



カワラヒワ

広報えびな

編集・発行

海老名市役所 広報広聴課

〒243-0492

神奈川県海老名市勝瀬175番地の1

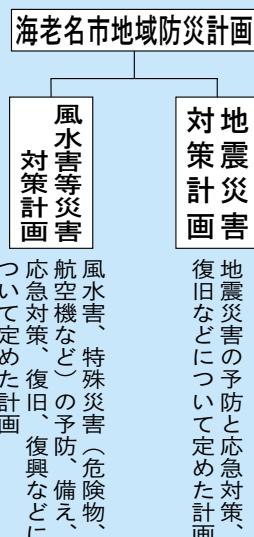
☎ (046) 231・2111

URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>

*この広報は再生紙を使用しています。

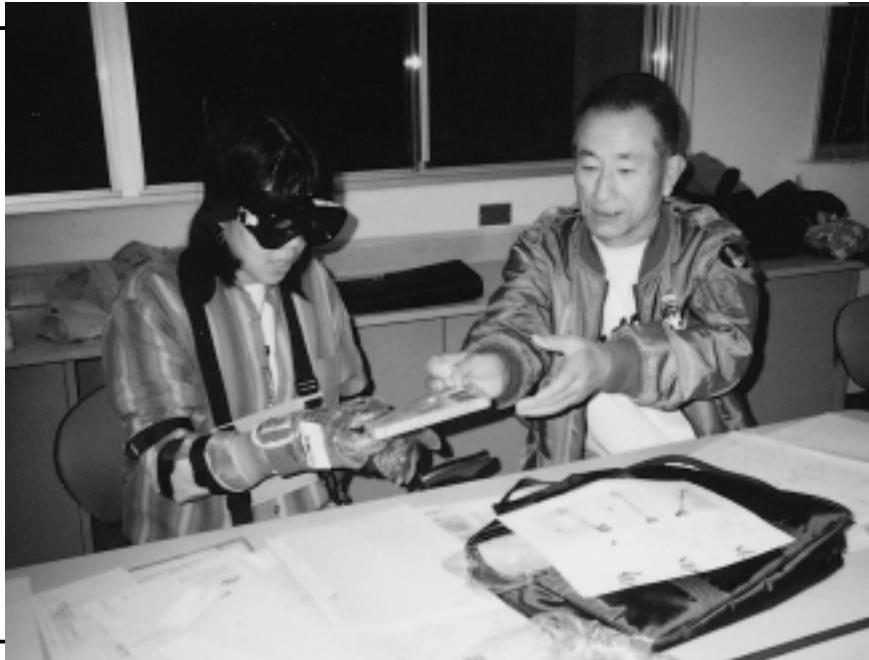
市は11月1日付で、大規模な災害に対応するために地域防災計画を3年見直しました。これは、県が想定される地震の種類や被害を修正したものです。今回も主な修正内容についてお知らせします。

〈計画の構成〉



「海老名市地域防災計画」3年ぶり見直し

みなさんの積極的な参画を



12月1日、県下で8番目に発足した「海老名市災害ボランティアネットワーク」(小川正文代表)。職業などの枠を超えた幅広い交流と、災害・防災に関する知識や技能の習得を進め、万一の災害発生時に有意義な活動ができるよう備えています。写真は高齢者の疑似体験を通じ、災害弱者への対応などを学ぶ勉強会の模様。

避難所の見直し

市民への防災知識の普及と防災行動力の向上を図るために、市民の心得として①平常時の心得 ②警戒宣言発令時の心得 ③地震発生時の心得の3項目を明文化しました。

(右下参照)

防災の心得を明文化

: 防災知識の普及 :

想定被災人口に対する避難所の収容可能な人数が不足していたため、避難所の見直しを行いました。市内には福祉避難所2カ所を含む42カ所の避難所を指定して

「福祉避難所」を新設

: 災害弱者予防計画 :

高齢者や身体障害者などの「災害弱者」の所在の把握、避難誘導体制の整備を引き続き進めるとともに、新たに総合福祉会館とわかば会館の2カ所を、災害弱者が避難生活をする「福祉避難所」に指定しました。

◆ 地震災害対策計画を
総則で市民・企業の責務を明確化
防災対策として市民と企業の責務を明確化しました。市民自らの防災対策の実施や、自主防災組織への積極的な参画など、市民の責務について明文化しました。また、企業についても同様の項目を設けました。

(右下参照)

広域避難場所の見直し

: 人口増と広域避難場所の増減などにより、全地域について見直しを行いました。

国分地区、柏ヶ谷地区、杉久保地区の

いります。

◆市民の心得(抜粋)

- ①平常時 … 家庭の防災会議を開く、地域の避難場所や家族との連絡方法を確認する、建物の補強・家具の固定をする、3日分の食糧・飲料水等を備蓄する、救急用品、非常持ち出し用品を準備するなど
- ②警戒宣言時(東海地震) … 正しい情報に基づき冷静に行動する、火気の使用を極力避ける、消火器等の点検と配置場所を確認する、避難場所・避難路を確認するなど
- ③地震発生時 … まず身の安全、次に火の始末をする、あわてて飛び出さず出口を確保する、避難は徒歩で、荷物は最小限に、協力して応急救護を、正しい情報を得てうわさに惑わされないなど

市内コミセン10カ所に 災害時の応急救護所を設置

: 救急医療対策 :

ボランティア活動を積極支援

: 災害救援ボランティア計画 :

行うため、海老名市医師会、海老名市歯科医師会、海老名市薬剤師会の協力を得て、コミセンに応急救護所を開設します。

※「海老名市地域防災計画」は、市役所1階情報公開コーナーで閲覧できます。

航空機災害にも即応

: 風水害対策計画 :

風水害等災害対策計画の中に、新たに「鉄道災害」と「航空機災害対策」を加え、大規模災害に、より具体的に対応できる体制を整えました。(従来は「危険物等の災害、放射性物質、大規模事故」の3項目)

市民・企業の責任(要旨)

市民	ア 防災に関する知識、技能等を修得し、地震発生時に發揮できるよう努める。
	イ 「自らの身は自ら守る」の観点から、3日分の食糧・飲料水等の備蓄や家具等の転倒防止対策、家族の連絡体制づくりなど、市民自らが防災対策を実施する。
企業	ウ 「皆のまちは皆で、守る」ため、自主防災組織の結成・活動への参画に努める。
	エ 地震発生時は、相互協力し、情報の入手・初期消火・救出救助などに努め、避難の際は冷静かつ積極的に行動するように努める。

企業	ア 日ごろから、施設・設備の耐震性の確保や、食糧・飲料水等の備蓄、救助等のための資機材の整備、従業員の防災訓練などの積極的な実施に努める。
	イ 地震対策の責任者を定め、地震が発生した場合の従業員の行動を明確にし、地域と連携して、地震防災活動に参加する体制を整備するよう努める。
市民	ウ 地震発生時は、地域と連携して、情報の収集伝達・消火・応急手当などを積極的に行うように努める。

**市民活動課
(内266)**